

# 風を見る者



## 総会報告等

東野高等学校卒業生の皆さん。同村会会長の遠山です。2018年9月8日に行われた同村会総会において、再度会長に選任して頂きましたことを御報告致します。他の役員と共に、同村会をさらに発展させ、より活動を充実していきたいと考えております。

昨年度の総会では、東野との関係をより深めていく必要性から、理事長の中川先生と学校担当者である森教頭先生に出席をいただきましたが、本年度は、より学校との結びつきを強固していくため、前述のお二人に加え、北村校長先生及び学校の同村会担当者として主幹の鹿島先生・事務局の杉本さんにも、お忙しいなか出席をいただきました。また、数十年前に出席された会員の方もあり、約15名での総会となりました。特に、理事長並びに校長先生からは総会開催にあたりお祝いの御挨拶もいただきました。御出席を頂いた皆様には、改めてこの場を借りて御礼を申し上げます。

ここで、採択された総会議案につき順不動となりますが、いくつか御報告致します。基調報告の最後に触れておりますが、2017年度の役員会では、大きな継続課題として、後継者問題と会の事業承継の仕方について討議をしてきております。

初めにお知りになる方もいらっしゃると思いますが、近年、大学や高校の同窓会組織を法人（多くは一般社団法人）化する動きが多くなってきております。これは、金銭にかかる税務署との関係や、代表者が交代した際の手続き、組織事務のアウトソース可やそれに伴う契約締結、会費以外の事業収入の確保等、各同窓会組織において事業承継を容易にできるというメリットがあるからです。

他方、当面のデメリットとしては、法人化には一定程度の費用がかかるという問題もあり、これらを踏まえ、今後の同村会の継承のために良い方法を検討して行きたいと考えております。

次に、新年度の役員ですが、2018年度は1名の立候補の届出があり、昨年より1名増加の12名体制となりました。とはいえ、9割超の役員の卒業期が一桁代という現状があり、人材不足・後継者問題がここにも顕著に

表れております。やはり、若い会員が役員として活動するには困難な時期や環境があり、一定期間を経て役員として活動ができる時期や環境が整った会員を、役員として迎え入れられるような計画が必要ですが、どのような計画が良いか、現役員も頭を悩ませております。

さて、会報の夏号に掲載しておりますが、1期生の同期会が2018年にも開催されました。同村会は、案内の発送等のお手伝いに関わりかけた1期生や、お辞めになった先生が、盃等祭に顔を出して下さいました。同期会は、友人らとの繋がりを深め、その繋がりは、東野や当会について、考えていただける良い機会になります。今後も、各期の同期会が容易に開催できるよう、同期会会場の手配等も含めたお手伝いをしていきますので、是非、同期会開催をしたいという声を同村会に伝えて下さい。

今後のイベント予定として、同村会は2020年秋に全会員を対象とした大同窓会の開催を計画しております。しかし、現在の会員数（卒業生数）は9,589名と1万名に迫る状況でありながら、会報夏号の発送件数は6,600件を切る状況で、約3,000名の会員が消息不明となっております。当会にとっては大きな損失であると言わざるを得ません。会員の消息は、同村会の活動全てに関連するだけでなく、同村会の存続に関わる後継者の人材発掘・育成にもかかる重要な課題でもあります。消息が不明の方に、大同窓会の御案内もお送りできないことになってしまいますため、皆様には、LINE等のSNS、年賀状等で繋がっている同期の方に、あらためて同村会の会報が届いているか等のお声かけをお願い致します。また、お辞めになってしまった先生方についても、消息不明の先生が多くいらっしゃいますので、同村会に情報をお送り下さい。

その他の報告は、紙面の都合もありますので、2017年度決算書・2018年度予算案も含め、同村会ホームページの採択済議案書（下記参照）を御覧下さいませようお願いします。

最後になりますが、本年度も同村会は一步一步確実に前進をしていきます。今後の同村会のため、東野のためにも、引き続き皆さんの御支援と御協力を御願ひ申し上げます。

<http://www.dousonkai.com/sokai.html>



## 大同窓会開催決定！ 卒業生集まれ！！

東野高校創立35年を記念して、来年2020年・秋に、大同窓会を企画しています。2020年時点での卒業生(1期生～33期生)全員に案内をお送りします。

毎回お願いしていますが、卒業生に会ったら、合言葉『会報届いてる?』の声かけを今いっただお願い致します。会報の届いていない卒業生には、案内をお送りすることができません。同村会に住所をお知らせください。

卒業生約10,000名とお世話になったすべての先生方が集える大・大同窓会です。

ぜひお楽しみに。

## お辞めになった 先生方の消息

会員の皆さまにお願いです。既に東野をお辞めになっている教職員の方々と、今でも年賀状やメール・LINEのやりとりをされている先生がいらっしゃるようでしたら、その先生の御名前を同村会に教えて頂きたいのです。

現在、200名以上のお辞めになられた教職員の方々がいらっしゃいます。住所やメールアドレス、その先生の許可がなければお教えいただけませんが、ですが、いまでも、卒業生と繋がりがついている先生を、1人でも多く把握したいのです。上記のような大同窓会にお声かけをしたくても、どなたと繋がっているかさえ判らない状況のため、ぜひご協力下さい。よろしくお願ひ致します！

本年度も、よろしくお願ひ致します。



盈華祭が  
開催されました。

一期 嶋田 明美

みなさん、こんにちは。卒業後、久しぶりに誘われて友人と文化祭に行ったのが一昨年の文化祭です。久しぶりに乗ったスクールバスが懐かしく、台数が増えたり、発着場所が増えていたり事にびっくりしました。学校に着き、門に「盈華祭」の文字にもびっくり。私たちの時は、「東野村祭り」だったなあ〜と思い門をくぐりました。

目に飛び込んで来たのは、食堂・池・大講堂・校舎と、懐かしい景色がそこにはありました。学生時代を思い出しながら見て回り、オレンジのテント「同村会」という文字を見つけました。テントには、同期生の人もいたり、先生もいたり、アルバムもあったので友人と自分達の代だけでなく、後輩のアルバムも見ながら、いろいろな話をしました。



先生 小池文良 (元英語科)

翌年には、テントの下でアイスの売り子のお手伝いをしていました。先生や同期生もテントに顔を見せてくれてアイスを買ってくれたり、話もできたり、楽しい時を過ごしました。アルバムを見ながら、「ワァーなつかし〜」とか「何期だったけ〜」と、様々な声が聞こえてきます。ただ、テントにしていると、現役生徒がどんなことを発表しているのか、どんなお店をやっているのか、見に行けず一日が終わってしまうのが現状です。お手伝いも交代してくれる人がいれば、見に行けるのかな〜と思います。それには人数が必要で、文化祭が終わるころ、テントの片付けはもちろんですが、第一の門の飾りや風鈴を飾っていた木枠の解体等も、同村会の役員が少ない人数で片付けをしています。木枠は1本1本ネジを外し片付けをしている作業を見て、私はびっくりしました。これは、手伝ってみたいと解らなかった事でもあります。もっと人数がいたら片付けも早く終わるんだろうな〜と思います。卒業生の皆さんの力を、ちよつとだけ貸してもらえたらすごく嬉しいです。文化祭には、たくさんさんの卒業

生に同村会テントに顔を出してもらいたいと思っていますし、同村会の役員も、卒業生の皆さんのお越しを待っています。ぜひ、同村会のテントに顔を出しに来てください！



盈華祭・全校風鈴の思い出

文化祭実行委員会 顧問 菅原英雄 第34回盈華祭はテーマ「Best Memories」最高顔を作り出せ〜で行われ、開催日の9月8日(土)、9日(日)は両日とも晴天に恵まれました。

メッセージとしてもデザインされた「メッセージアート」が生まれました。高さ2m×横10mという「メッセージアート」が2年ほど取り組まれ展示されました。そして昨年、実行委員長、同村会の方々と話し合いました。「全校風鈴」が生まれました。メッセージアートでのひとりひとりのメッセージを伝えるスタイルを踏襲しながら、更に手作り風鈴で音でも来校者の方々をお迎えするという形が生まれました。

非とも来年度以降も使い続けていって欲しいという希望を話していました。また、第一の門の看板装飾としてはデザインを実行委員で考え、文字は書道同好会の小池先生、笑顔の東野生2人のイラストは盈華祭ポスターが採用された2年生の王君が描いてくれました。今年は、実行委員会企画としては新たに「のど自慢」、「男装女装コンテスト」にも挑戦しました。新しい取り組みが形になりましたが実行委員長たちもそれらの困難を乗り越えて大きく成長してくれた事と思います。どちらの企画も出場参加生徒たちの沢山の笑顔や新しい魅力を発揮、発見できたことが大きな収穫であったと思います。

世界にははばたく東野生

昨年の風鈴短冊を、今年は来場者の方にも記入していただきスケールアップすることになり、あらたに600個追加で生徒と風鈴を制作しました。制作の際、手作り風鈴の計算された作り方に感動をしました。直径5cmの植木鉢にタコ糸と釣りの重り、木材の丸棒を2cmにカットしたもの、と段ボール片を絶妙の長さで正確に取り付けないと良い音がしません。制作の難しさから、制作した実行委員の生徒は、是



途中、現在海外で居住されている片柳由奈さん(28期生)から、現地での生活環境についての報告、海外に飛び出すことの意味や意義についての動画メッセージが紹介されました。限られた短い時間ではありましたが、司会の松橋さんの受け回しが上手く、時間内に在校生へのエールを込



去る、10月18日狭山市市民会館大ホールにおいて、講演会・視聴覚教室「世界にははばたく東野生」が開催されました。学校の企画ではありませんが、これは卒業生(会員)から在校生へのエールを込めた二部構成の講演会でした。第一部は、松橋希(25期生)さんの司会進行によるパネルディスカッションで、オリンピック・アジア大会等で活躍されているウォルシュ・ジュリアン・ジャマイ(28期生)さん、祖父江菜緒さん(30期生)がパネラーとなり、現在の活動や、高校生活で得られたもの等、語学の勉強についての、海外に目を向けることの意味等を、自分の言葉で伝えていました。

めたメッセージは伝わったと思います。第二部は、山尾麻耶さん(10期生)による三味線と、入間市太鼓セッションの方々による演奏です。和楽器文化を海外に伝える活動や、その文化継承に尽力されている山尾さんのお話しと演奏に、在校生も真剣な表情で聴き入っていました。最後は明るく楽しい沖縄の踊り、伝統芸能エイサー!

同村会は東野の卒業生による会です。このように卒業生の活躍を在校生に伝えられることは、同村会としても嬉しい限りです。国内外を問わず、あらゆる場面で活躍されている卒業生の力を、在校生のために活かせる機会が増えることを希望して止みません。





# 先生から、あなたへ

## 東野と卒業生

数学科 五十嵐文彦



1987年3学年全てが揃った年から東野に来てもうあっという間に年月が経ってしまいました。最初は非常勤講師で数学を教え、その後専任教諭となり

30年間で過ぎました。

専任になってからは毎年印象に残っていることはあるのですが、大きな点でいくつかを挙げていくと、①部活ではスキー部（現在はなし）の生徒たちとの大会合宿と関東大会インターハイでの生徒の活躍。今からでもスキー部（シーズンスポーツ部）の復活なんかあると嬉しいかも。②村祭り（現在は盈華祭）で、遅くまで生徒と取り組んで完成したいろいろな出来事。大きな絵の作成や池に浮かんだ大きなカタツムリなど、他の学校では

ありえないスケールの大きさでの祭り（文化祭）。③授業時間が90分授業というのは生徒にとっても教員にとっても楽しく長い充実した時間でした。当時は90分間が短く感じていました。それだけ生徒と充実していた授業だったのかもしれない。未熟な私を育ててくれた授業だったのだと思います。④嬉しくないことは、生徒や卒業生の事故です。

今の東野これからの東野に期待することは、創立当初からの東野高校は、その場にいる生徒・教職員のためにあるという言葉のとおりで、それぞれが発展し学ぶための場であり、それを生かす活かす場所として今まで以上にふさわしくなってもらいたい。また、生徒及び卒業生の発展を大きく考えるとともに、『優しさ』と『厳しさ』をしっかりと生徒に伝えていきたい。

以前から東野高校では、学習をする力をつけることのできる場所であったように、このことをさらに発展させていける学校であることを目指していきたい、生徒も今まで以上に自分自身の発

## 卒業生の皆様へ

地歴公民科 鈴木雄太



展のために学習をし、どんどん力をつけて欲しい。最後に今年度の卒業生に向けては、今までに卒業した生徒のように、しっかりと自分の生きる道を見つけて大きく羽ばたいてほしいと思います。また、東野の卒業生は皆、大きな羽で羽ばたける力を持っています。頑張ってください。

私は2010年4月より本校で勤務しております。担任としてはもちろんのこと、授業では世界史や政治経済の授業、さらにはサッカー部の顧問として皆様と関わる機会があったことと思います。東野高校はこの8年間で大き

く変化し、成長を遂げていると感じます。卒業生の皆様にとっては驚かれる変化もあると思いますが、私学として生き残るためには伝統を大切にしつつ新たな挑戦が求められる時代です。進学に力を入れ、また部活動の活性化にも積極的に取り組んでいます。

進学実績も、東京外国語大学や早稲田大学、東京理科大学といった有名大学に進学する生徒も出てきています。また、部活動においても実績を出しつつあります。例えば、今年の夏には陸上競技部が全国高校総体（インターハイ）出場を達成。陸上部OBであるウォルシュ・ジュリアン君（現東洋大学）はリオ・オリンピックに出場し、東京オリンピック出場が有力視されています。また吹奏楽部も全国大会出場、ダンス部は全国大会常連となり、世界大会にも出場しています。

ちなみに私が顧問を務めさせていたサッカー部は、2010年には15名程度でしたが、今では部員数約90名、支部1部リーグに所属し、県大会出

場を達成しています。そんなサッカー部ですが、1年目には生徒と一緒に頭を丸めたことからスタートしました。今では懐かしい思い出になっています。授業でも部活動の面でも、生徒の皆が活躍できるチャンスがあることが東野高校の大きな魅力ではないでしょうか。今後も卒業生の皆様が誇れる母校であり続けるよう、精いっぱい努力してまいります。今後ともよろしくお願いたします。

## メッセージにかえて

数学科 稲荷安菜



【何年（何期生）より東野にいらっしゃいますか。】

2013年の4月より東野高校で勤務しています。

## 【印象に残っている出来事。印象に残っている生徒。】

1年目で2学年の副担任をしているとき、数学を担当していたあるクラスの担任の先生の結婚祝いサプライズしたことです。そのクラスは男子クラスで、やんちゃな生徒がたくさんいて、1年目の私にはある意味レベルの高いクラスでした。そんな生徒たちと、担任の先生の結婚祝いしようという計画をしました。

2月の大雪が降った日の6時間目。準備を終えると学級委員を職員室へ走らせ、担任の先生を教室に呼んでもらいました。扉が開いた瞬間、「先生、結婚おめでとう！」とクラッカーを鳴らしてお祝いをしました。一人一人の写真に添えたメッセージ付きのアルバムや、不器用な男子が作ったコルクボード、前日に買ったため賞味期限が切れたケーキ、男子クラスならではのプレゼントを準備したサプライズは大成功をおさめました。

私も来年、こんな生徒たちの担任をもてるといいなと感じま

した。そして初めて担任を持ったクラスは、今でも忘れられない最高のクラスとなりました。

## 【今後の東野に期待すること。】

入間を代表する高校になることを期待しています。

## 【卒業生に一言。】

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。色んな世界に興味を持ち、たくさん人の経験を積んでください。素敵な大人になることを願っています。

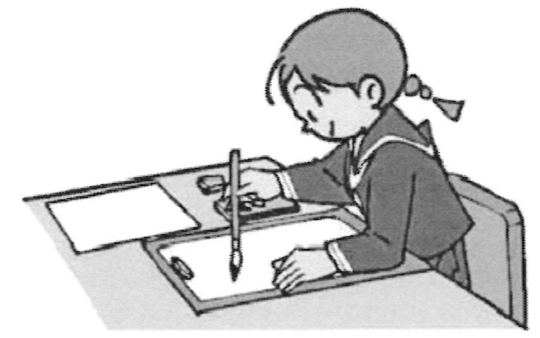
この先生だくれた？  
名前、覚えてるかな？



# 部活動 紹介

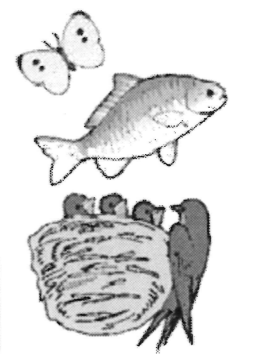
- ①現在の部員数を教えて下さい。
- ②主に活動を行っている場所はどこですか。
- ③顧問の先生を教えてください。
- ④部の目標、夢を教えてください。
- ⑤卒業していった先輩に伝えたいことはありますか。
- ⑥現在、部活内で困っていることがありますか。

## 書道部



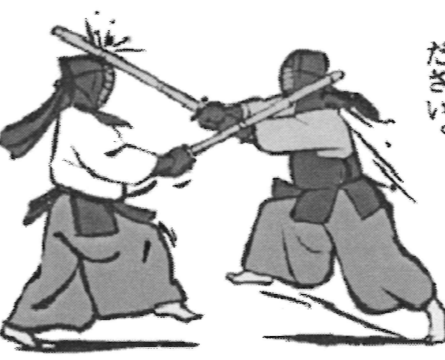
- ①男子15名 女子2名 (1年生のみ)
- ②書道室
- ③小池功一郎 先生
- ④部員全員の字が上手になること。書道パフォーマンスをして書道の楽しさを伝える。書道展に出品して受賞する。
- ⑤直接の関わりはありませんが、後輩たちの目標となる先輩になって卒業したいです。(原文のまま)
- ⑥全員の出席率が低い。

## 生物部



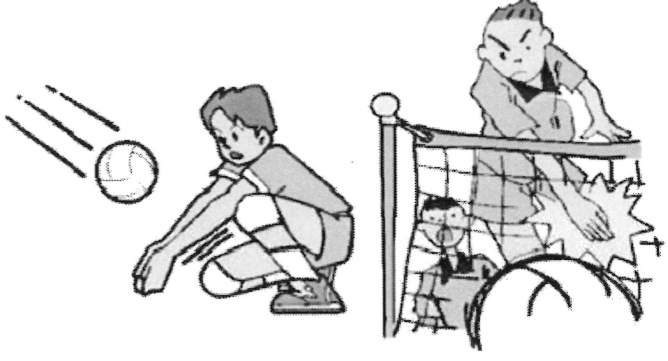
- ①男子23名 女子4名 (3年9名、2年6名、1年12名)
- ②理科室
- ③佐藤 潤 先生
- ④生物部をより一層発展させることです。
- ⑤生物同好会から、生物部になりました。同好会から、部になったのは、卒業した先輩の今までの努力だと思えます。これから僕たち部員は様々な実験をして頑張っていきます。
- ⑥やはり人数が増えたことで、来ない人や幽霊部員が見受けられるようになりました。来ない人を参加させるにはどうすればいいのかを悩んでいます。

## 剣道部



- ①男子3名 (2年生2名、1年生1名)
- ②体育館2F
- ③大隈正平 先生
- ④関東、全国に行くチームに成長すること。まずは、部員確保です。
- ⑤稽古に来ていただきありがとうございます。また稽古をつけていただけることを楽しみにしています。
- ⑥太鼓があると雰囲気が変わります。また、部員数確保が難しい現状です。先輩方のお力も貸してください。

## 男子バレー部



- ①男子15名 女子1名 (3年3名、2年6名、1年7名)
- ②体育館、多目的ホール、クロスカントリー
- ③高津竜一 先生
- ④大会で勝利、県大会出場
- ⑤県大会目指して頑張ります！
- ⑥バレーボールネットの支柱の老朽化、体育館床の状況が悪い。

## 同村会基金開設

会長 遠山 尚



同村会会員の皆さん、日頃より、同村会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。当会を代表し、初めて御寄付のお願いです。

写真のように、昨年9月末から10月にかけての台風24号の影響によって、東野高等学校の敷地北側の板塀が倒壊、池のほとりの大木が倒れ、教室等は窓枠ごと吹き飛ばすという事態が発生しました。また、すでに30数年が経過していることから、償却の済んでいる設備として、保険適用がほぼされず、全額、学校の負担により補修することになり、現在はキャンパス内が見える開放的なフェンスに換わっております。

このような事態のなか、私たち同村会役員は、母校の設備やキャンパス内の倒木等に非常に悲しみを覚え、なにか同村会でやれることはないか検討してきました。



総会  
において出納の御報告もし、通常の当会の運営費等に流用することも致しません。

あくまで有志による寄付のお願いであり、強制をするものではないとさせていただきますが、当会は、極力、皆様にご負担がからないよう、毎年の会費を徴収せず、永年会費としていただくことも考慮のうえ、基金へのご協力をお願いする次第です。

御寄付をいただいた方は、1口を1,000円として、何口でも構いません。下記の口座へご送金ください。また、期限等もございませんので、本日以降、いつ御寄付をいただいても構いませんので、よろしく御願い申し上げます。

埼玉りそな銀行入間支店 普通口座  
記 口座番号：1384371 口座名義：東野高等学校同村会 (ヒカ\*シノコウトウカ\*ツコウト\*ウソソカイ)  
※送金手数料のご負担をお願い致します。

